



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 ライオン株式会社
 コード番号 4912 URL <http://www.lion.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト等向け)

(氏名) 濱 逸夫
 (氏名) 鎌尾 義明
 配当支払開始予定日

TEL 03-3621-6211
 平成28年9月6日

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	188,248	4.4	10,430	83.0	11,338	70.6	7,161	83.7
27年12月期第2四半期	180,283	2.1	5,698	44.0	6,647	47.4	3,898	58.1

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 3,378百万円 (△56.1%) 27年12月期第2四半期 7,694百万円 (584.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	24.86	24.83
27年12月期第2四半期	14.53	13.53

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
28年12月期第2四半期	264,804		146,452		52.6
27年12月期	282,434		142,730		47.6

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 139,314百万円 27年12月期 134,453百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
28年12月期	—	5.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	6.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	385,000	1.7	21,000	28.2	22,000	21.6	13,000	21.7	44.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年12月期2Q	299,115,346 株	27年12月期	299,115,346 株
-----------	---------------	---------	---------------

② 期末自己株式数

28年12月期2Q	8,468,206 株	27年12月期	12,469,748 株
-----------	-------------	---------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期2Q	288,025,979 株	27年12月期2Q	268,137,115 株
-----------	---------------	-----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記述している業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、経済情勢、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、上記予想数値とは大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 7「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	8
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	8
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	8
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	8
3. 四半期連結財務諸表	9
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	15
(セグメント情報等)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期の連結業績は、売上高1,882億4千8百万円（前年同期比4.4%増、為替変動の影響を除いた実質前年同期比7.9%増）、営業利益104億3千万円（前年同期比83.0%増）、経常利益113億3千8百万円（同70.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益71億6千1百万円（同83.7%増）となりました。

当社グループは、中期経営計画「V-2計画（V i s i o n 2 0 2 0 P a r t - 2）」における4つの戦略テーマ「国内事業の質的成長」、「海外事業の量的成長」、「新しいビジネス価値の開発」、「組織学習能力の向上」にもとづく施策を推進しています。

国内事業では、歯磨、制汗剤、洗濯用洗剤等において主力ブランドで新製品を導入するとともに、高付加価値品を中心に積極的なマーケティング施策により育成を図りました。

海外事業では、オーラルケア、ビューティケア等のパーソナルケア分野を中心に、重点ブランドの育成を行い、事業規模の拡大を図りました。

【連結業績の概況】

(単位：百万円)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	188,248		180,283		7,964	4.4%
営業利益	10,430	5.5%	5,698	3.2%	4,731	83.0%
経常利益	11,338	6.0%	6,647	3.7%	4,690	70.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,161	3.8%	3,898	2.2%	3,262	83.7%

【セグメント別の業績】

(単位：百万円)

	売上高				セグメント利益（営業利益）			
	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率
一般用消費財事業	135,714	129,293	6,421	5.0%	6,155	2,527	3,628	143.5%
産業用品事業	26,614	29,015	△2,400	△8.3%	1,249	691	558	80.7%
海外事業	55,142	48,749	6,393	13.1%	2,468	1,612	856	53.1%
その他	12,143	14,320	△2,176	△15.2%	333	494	△161	△32.6%
小計	229,615	221,378	8,237	3.7%	10,207	5,326	4,881	91.7%
調整額	△41,367	△41,094	△272	—	222	372	△149	△40.2%
合計	188,248	180,283	7,964	4.4%	10,430	5,698	4,731	83.0%

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

<一般用消費財事業>

当事業は、「オーラルケア分野」、「ビューティケア分野」、「ファブリックケア分野」、「リビングケア分野」、「薬品分野」、「その他の分野」に分かれており、全体の売上高は、前年同期比5.0%の増加となりました。セグメント利益は、増収に加え、原価率の低減などにより前年同期比143.5%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	135,714		129,293		6,421	5.0%
セグメント利益	6,155	4.5%	2,527	2.0%	3,628	143.5%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第2四半期では13,116百万円、前第2四半期では12,746百万円となっております。

[売上高の分野別状況]

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率
オーラルケア分野	29,240	26,795	2,445	9.1%
ビューティケア分野	11,174	10,909	265	2.4%
ファブリックケア分野	37,453	36,690	763	2.1%
リビングケア分野	9,913	9,987	△74	△0.7%
薬品分野	19,085	17,831	1,254	7.0%
その他の分野	28,846	27,079	1,767	6.5%

(オーラルケア分野)

歯磨は、「歯垢を落とす、フッ素を残す、菌を増やさない」という予防歯科の3つのポイントを実現できる「クリニカアドバンテージ ハミガキ」を改良発売するとともに、「システムハグキプラス」シリーズが3倍増となり、全体の売上は前年同期を上回りました。

歯刷牙は、「クリニカアドバンテージ ハブラシ」や「システムハグキプラス ハブラシ」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

口中剤は、新機能の「抗菌コート」で菌をよせつけず、原因菌の増殖を抑え、ムシ歯、歯肉炎、口臭を防ぐ「クリニカアドバンテージ デンタルリンス」を改良発売し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

また、「クリニカアドバンテージ デンタルフロス Y字タイプ」などのデンタル用品の売上が前年同期を大幅に上回りました。

(ビューティケア分野)

ハンドソープは、バイ菌を増やさない抗菌ポンプヘッドを新たに採用した「キレイキレイ薬用泡ハンドソープ」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

制汗剤は、「耐水皮膜成分」を新配合し、汗の出口にフタをする“ナノイオンブロック効果”でワキ汗が出る前にしっかり抑える新製品「バン汗ブロックロールオン プレミアムラベル」がお客様のご好評を得ましたが、パウダースプレーが伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

(ファブリックケア分野)

洗濯用洗剤は、センイ1本1本から汚れを徹底的に落とす“スーパーナノ洗浄”で優れた洗浄力を実現した超コンパクト液体洗剤の新製品「トップ スーパー^{ナノ}NOX」がお客様のご好評を得るとともに、微香タイプを追加したおしゃれ着用洗剤「アクロン」が順調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

柔軟剤は、「香りとデオドラントのソフラン」や「ソフラン アロマリッチ」が堅調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

(リビングケア分野)

台所用洗剤は、前期に発売してお客様のご好評を得た「CHARMY ^{チャーミー}Ma^{マジ}gi^ジca^カ」に除菌と無香性の2つのタイプを追加発売し、育成に注力しましたが、全体の売上は前年同期比横ばいとなりました。

住居用洗剤は、浴室用カビ防止剤「ルック おふろの防カビくん煙剤」、トイレ用洗剤「ルックまめピカ トイレのふき取りクリーナー」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

(薬品分野)

解熱鎮痛薬は、「バファリンA」に加え、「バファリン プレミアム」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

点眼剤は、「スマイル40 プレミアム」や「スマイル40 ^{イーエックス}EX ゴールド」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

(その他の分野)

通信販売商品は、「ナイスリムエッセンス ラクトフェリン」が好調に推移するとともに、くつろぎのリラックスタイムを演出する新製品「グッサアロマ リネンスプレー」や「グッサアロマ 入浴剤セット」がお客様のご好評を得て、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

ペット用品は、猫用トイレの砂「ニオイをとる砂」が堅調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

<産業用品事業>

当事業は、導電性カーボン等を取り扱う「電気・電子分野」、界面活性剤等の「生活産業分野」、施設・厨房向け洗剤等の「業務用洗剤分野」等で構成されており、全体の売上高は、前年同期比8.3%の減少となりました。セグメント利益は、売上構成の変化などにより前年同期比80.7%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	26,614		29,015		△2,400	△8.3%
セグメント利益	1,249	4.7%	691	2.4%	558	80.7%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第2四半期では11,412百万円、前第2四半期では14,121百万円となっております。

電気・電子分野では、スマートフォン等のモバイル機器向け粘着剤が伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

生活産業分野では、ヘアケア製品や衣料用柔軟剤向けの原料が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

業務用洗剤分野においては、厨房向け消毒用アルコールが好調に推移するとともに、ハンドソープが堅調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

<海外事業>

海外は、タイ、マレーシア等の東南アジア、韓国、中国等の北東アジアにおいて主に消費財事業を展開しております。全体の売上高は、前第3四半期末にマレーシアのサザンライオン有限公司を連結子会社としたことなどにより、前年同期比13.1%の増加（為替変動の影響を除いた実質前年同期比27.8%の増加）となりました。セグメント利益は、前年同期比53.1%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	55,142		48,749		6,393	13.1%
セグメント利益	2,468	4.5%	1,612	3.3%	856	53.1%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第2四半期では5,959百万円、前第2四半期では3,225百万円となっております。

[地域別売上状況]

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率
東南アジア	37,811	31,922	5,888	18.4%
北東アジア	17,331	16,826	504	3.0%

(地域別の状況)

東南アジア全体の売上高は、前年同期比18.4%の増加となりました。

タイでは、「^コドモ」ブランドのオーラルケアシリーズや「植物物語」ボディソープが好調に推移しましたが、為替変動の影響を受け円貨換算後の全体の売上は前年同期を下回りました。

北東アジア全体の売上高は、前年同期比3.0%の増加となりました。

韓国では、「キレイキレイ」ハンドソープが順調に推移するとともに、洗濯用洗剤の液体「ビート」が好調に推移しましたが、為替変動の影響を受け円貨換算後の全体の売上は前年同期を下回りました。

また、中国では、「システム」歯磨が好調に推移するとともに、日本からの輸入販売が増加しましたが、為替変動の影響を受け円貨換算後の全体の売上は前年同期比横ばいとなりました。

<その他> (建設請負事業等)

(単位：百万円)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	12,143		14,320		△2,176	△15.2%
セグメント利益	333	2.7%	494	3.5%	△161	△32.6%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第2四半期では10,878百万円、前第2四半期では11,000百万円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

①当四半期における資産、負債および純資産の状況

(連結財政状態)

	当第2四半期 連結会計期間末	前連結会計年度末	増減
総資産(百万円)	264,804	282,434	△17,630
純資産(百万円)	146,452	142,730	3,721
自己資本比率※1(%)	52.6	47.6	5.0

※1：自己資本比率は、(純資産－新株予約権－非支配株主持分)／総資産で計算しています。

総資産は、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末と比較して176億3千万円減少し、264億8千万円となりました。純資産は、37億2千1百万円増加し、146億4千万円となり、自己資本比率は52.6%となりました。

②当四半期におけるキャッシュ・フローの状況

(連結キャッシュ・フロー)

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,520	4,697	△177
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,317	△2,775	△2,542
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,061	△1,966	△3,095
換算差額	△1,776	△28	△1,748
増減額	△7,636	△72	△7,564
現金及び現金同等物の四半期末残高	53,642	38,077	15,564

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少等により、45億2千万円の資金の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、53億1千7百万円の資金の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当の支払いによる支出等により、50億6千1百万円の資金の減少となりました。

以上の結果、当第2四半期の現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ76億3千6百万円減少し、536億4千2百万円となりました。また、前第2四半期末に比べて155億6千4百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想は、平成28年7月29日発表のとおり、前回予想（平成28年5月9日発表）を修正しております。

詳細につきましては、発表資料「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(当期業績予想値算出の前提条件)

第3四半期以降における主要な為替レートは、105円/米ドル、3円/バーツとしています。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

(たな卸資産の評価方法の変更)

当社グループの商品・製品のたな卸資産の評価方法については、従来、主として先入先出法による原価法を採用していましたが、Vision2020の実現に向け推進している「海外事業の量的成長」に基づき、2015年9月にサザンライオン有限公司を連結子会社化するなどにより連結財務諸表に占める海外子会社の構成比が増加していることを契機として、当社グループのたな卸資産の評価方法を検討した結果、連結グループとしての会計方針を海外子会社の採用している会計方針に統一することがより適切であると判断し、第1四半期連結会計期間より親会社及び一部国内連結子会社において、移動平均法による原価法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であり、遡及適用は行っておりません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,584	19,132
受取手形及び売掛金	58,655	50,597
有価証券	45,919	37,889
商品及び製品	24,233	27,652
仕掛品	3,169	2,885
原材料及び貯蔵品	10,151	9,886
その他	6,214	5,803
貸倒引当金	△98	△90
流動資産合計	166,830	153,756
固定資産		
有形固定資産	75,060	72,338
無形固定資産		
商標権	4,428	3,043
その他	1,492	1,269
無形固定資産合計	5,921	4,312
投資その他の資産		
投資有価証券	21,116	20,373
その他	13,721	14,230
貸倒引当金	△215	△207
投資その他の資産合計	34,622	34,396
固定資産合計	115,603	111,047
資産合計	282,434	264,804
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,620	41,716
短期借入金	9,772	6,091
1年内返済予定の長期借入金	226	269
未払金及び未払費用	47,521	43,164
未払法人税等	4,614	3,257
賞与引当金	2,992	1,808
返品調整引当金	447	429
販売促進引当金	2,491	2,672
役員賞与引当金	336	178
その他	3,224	3,004
流動負債合計	121,247	102,593
固定負債		
新株予約権付社債	2,426	—
長期借入金	2,082	1,685
役員退職慰労引当金	414	304
退職給付に係る負債	8,751	9,028
資産除去債務	346	347
その他	4,434	4,392
固定負債合計	18,455	15,759
負債合計	139,703	118,352

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,433	34,433
資本剰余金	34,029	34,507
利益剰余金	69,414	75,142
自己株式	△6,800	△4,642
株主資本合計	131,077	139,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,983	5,377
繰延ヘッジ損益	△0	△38
為替換算調整勘定	1,748	△1,476
退職給付に係る調整累計額	△4,356	△3,989
その他の包括利益累計額合計	3,375	△127
新株予約権	403	185
非支配株主持分	7,873	6,951
純資産合計	142,730	146,452
負債純資産合計	282,434	264,804

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	180,283	188,248
売上原価	78,846	77,460
売上総利益	101,437	110,787
販売費及び一般管理費	95,738	100,357
営業利益	5,698	10,430
営業外収益		
受取利息	66	79
受取配当金	414	257
持分法による投資利益	430	451
受取ロイヤリティー	151	117
為替差益	77	44
その他	198	229
営業外収益合計	1,338	1,180
営業外費用		
支払利息	222	176
社債利息	64	9
その他	102	87
営業外費用合計	390	273
経常利益	6,647	11,338
特別利益		
投資有価証券売却益	139	-
固定資産処分益	615	-
特別利益合計	755	-
特別損失		
固定資産処分損	781	436
減損損失	173	59
関係会社整理損	-	235
特別損失合計	955	731
税金等調整前四半期純利益	6,447	10,607
法人税、住民税及び事業税	1,300	2,989
法人税等調整額	613	△125
法人税等合計	1,913	2,863
四半期純利益	4,533	7,743
非支配株主に帰属する四半期純利益	635	582
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,898	7,161

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	4,533	7,743
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,325	△617
繰延ヘッジ損益	0	△38
為替換算調整勘定	△184	△3,942
退職給付に係る調整額	190	366
持分法適用会社に対する持分相当額	△170	△132
その他の包括利益合計	3,160	△4,365
四半期包括利益	7,694	3,378
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,090	3,657
非支配株主に係る四半期包括利益	603	△279

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,447	10,607
減価償却費	5,406	5,108
減損損失	173	59
退職給付に係る資産及び負債の増減額(△は減少)	1,210	835
受取利息及び受取配当金	△481	△336
支払利息	222	176
社債利息	64	9
固定資産処分損益(△は益)	166	436
投資有価証券売却損益(△は益)	△139	-
持分法による投資損益(△は益)	△430	△451
売上債権の増減額(△は増加)	5,530	5,781
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,588	△4,060
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,454	△6,785
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△3,665	△2,437
その他の流動負債の増減額(△は減少)	450	618
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△277	△185
その他	△880	△782
小計	6,755	8,591
利息及び配当金の受取額	726	454
利息の支払額	△117	△138
法人税等の支払額	△2,666	△4,386
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,697	4,520
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	800	△20
有形固定資産の取得による支出	△4,608	△5,130
有形固定資産の売却による収入	781	21
無形固定資産の取得による支出	△28	△64
投資有価証券の取得による支出	△69	△91
投資有価証券の売却による収入	238	-
貸付けによる支出	△13	△1
その他	125	△31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,775	△5,317

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,226	950
短期借入金の返済による支出	△5,350	△3,938
長期借入金の返済による支出	△58	△58
自己株式の取得による支出	△28	△54
自己株式の処分による収入	0	0
配当金の支払額	△1,321	△1,431
非支配株主への配当金の支払額	△397	△490
その他	△37	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,966	△5,061
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	△1,776
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△72	△7,636
現金及び現金同等物の期首残高	38,150	61,278
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,077	53,642

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	一般用消費財 事業	産業用品事業	海外事業				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	116,546	14,893	45,524	3,319	180,283	—	180,283
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1	12,746	14,121	3,225	11,000	41,094	△41,094	—
計	129,293	29,015	48,749	14,320	221,378	△41,094	180,283
セグメント利益	2,527	691	1,612	494	5,326	372	5,698

(注)1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額372百万円は、内部取引消去額等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	一般用消費財 事業	産業用品事業	海外事業				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	122,597	15,202	49,182	1,265	188,248	—	188,248
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1	13,116	11,412	5,959	10,878	41,367	△41,367	—
計	135,714	26,614	55,142	12,143	229,615	△41,367	188,248
セグメント利益	6,155	1,249	2,468	333	10,207	222	10,430

(注)1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額222百万円は、内部取引消去額等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。